山形県広報誌県民のあゆみ平成30年５月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

＜表紙＞

山形県広報誌／県民のあゆみ　平成 30 年５月号 603 号

県民のあゆみ　５月号

特集　“やまがた創生”の展開強化
奏であう人 職人のものづくりと地域の関わり
やまがたモノガタリ 木製独楽

写真キャプション）
豊かな心と実践力を備えた看護職を目指し、学内のほか、県内の様々な保健医療福祉施設で知識や技術を学びます。病院で新生児を安全に沐浴するため、学内でモデル人形を使い愛情いっぱいで演習しています。（表紙撮影協力：県立保健医療大学看護学科の皆さん）

＜２から３ページ＞

タイトル）**県政できごとアラカルト**　こんなことがありました

１）山形の魅力を国内外に発信！

山形ブランド特命大使会議（２月６日 山形市）

　山形の魅力をまるごと国内外に発信するため、ものづくり、観光や文化など様々な分野で活躍し、高い発信力を持つ「山形ブランド特命大使」が一堂に会し、会議を行いました。県が取組みを進めている県産品プロモーションの効果的な手法やアイデアなどについて意見や提言をいただくなど、山形の魅力発信と、「山形ブランド」の普及向上に向けた意見交換を行いました。今後は、いただいた意見を参考にしながら積極的に情報発信を行っていきます。

２）オリンピック・パラリンピックへつなぐ

山形県スポーツ賞授賞式（２月23日 山形市）

　国内外の競技スポーツで優秀な成績を収めた方や、生涯スポーツの振興に寄与した指導者、団体などをたたえる山形県スポーツ賞が、111名８団体に授与されました。吉村知事は、「本県の

選手が全国、さらに世界の舞台で活躍し、元気な山形・スポーツ県山形を力強く発信することは、県勢発展の活力源となる。」と激励しました。東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、本県選手のさらなる活躍と本県スポーツの競技力向上が期待されます。

３）優れた技能で本県のモノづくりを発展！

卓越技能者等知事表彰式（３月８日 山形市）

優れた技能を持つ方や、職業能力開発、技能競技大会で活躍された方24名10団体への表彰式と、高校在学中に技能検定２級に合格し、県内事業所に就職した12名に対する若者技能振興奨励賞授与式を行いました。吉村知事は、「『ものづくり山形』にふさわしい技能を高め、また、優れた指導者として技能の継承・振興、技能者の育成に活躍されたことに心より敬意を表する。今後とも本県産業の発展の一翼を担っていただきたい。」と受賞者をたたえました。

４）Ｊ１（じぇいわん）復帰へ！ホーム開幕戦

モンテディオ山形 ＶＳ ＦＣ町田ゼルビア（３月17日 天童市）

２月に開幕したＪ２（じぇいつー）リーグ戦。第４節の相手はＦＣ町田ゼルビアでした。青空の下で行われたスタンドには、今季ホーム開幕戦を待ちわびていた大勢のサポーターが駆けつけました。大きな声援を受けて選手たちは奮闘し、一度は逆転に成功しましたが、終了間際に同点ゴールを許し、２対２で引き分けました。42節まで続く長い戦いは始まったばかりです。県民の皆さん、スタジアムに足を運び、Ｊ１（じぇいわん）復帰に向けて熱い声援を送りましょう。

©MONTEDIO YAMAGATA

５）６次産業化の新たな支援がスタート

「食品加工支援ラボ」オープニングセレモニー（３月27日 山形市）

県農業総合研究センターに「食品加工支援ラボ」が完成し、記念式典を開催しました。農業者や食品製造業者の方などが、新商品開発のための試作や、技術習得のための研修などに活用できます。式典では、吉村知事が「施設を活用し『山形らしい』商品開発が促進され、本県を訪れる国内外の観光客へのPRにつながるなど、本県農産物の魅力拡大に大いに期待している。」とあいさつしました。施設の活用を通し、６次産業化をさらに推進します。

タイトル）**にっこり知事室！**

日本一 美食・美酒県やまがた

県外や外国の方から、「山形にはおいしいものがあふれている」とよく言われます。２月の国連世界観光会議でも、参加された皆さんが絶賛されていました。本県の食べ物やお酒がおいしいのは何故でしょうか？私は恵まれた自然環境に加え、豊かな精神文化や何事にも真摯に向き合う県民性に要因があると考えています。豊富な伝統野菜の継承、素材を生かした料理法や漬物、研究熱心な酒蔵やワイナリーなどが、それを支えています。

一昨年、ワインのボルドーやシャンペン、ウイスキーのスコッチのように、「日本酒の山形」と清酒の地理的表示を指定していただきました。県全体の指定は、全国で本県だけです。また、今月、世界規模の品評会、ＩＷＣ「ＳＡＫＥ（さけ）部門」の審査会が東北で初めて本県で開催されますが、これらは、本県の日本酒のおいしさの証です。

外国人が日本へ旅行する目的の一位は、食だそうです。近年、欧米では、その土地ならではの食などを楽しむ「ガストロノミーツーリズム」が盛んです。山形が「美食・美酒県」であることに誇りを持ってＰＲし、国内外の観光誘客につなげていきたいと思います。

日本一美酒県山形
・都道府県で初めて国税庁の地理的表示（ＧＩ）の指定
・ＩＷＣ「ＳＡＫＥ部門」金メダル受賞数　４年連続第１位
・全米日本酒歓評会金賞受賞数　10年連続第１位
・地酒人気銘柄ランキング（株式会社フルネット調べ）　12年連続第１位

＜４から７ページ＞

タイトル）**特集**

“やまがた創生”の展開強化

山形の価値を高め続ける

平成30年度は、「自然と文明が調和した新理想郷山形」の実現に向けて、①県民総活躍、②産業イノベーション、③若者の希望実現、④健康安心社会、⑤県土強靭化 を県政運営の基盤として、「やまがた創生」の展開を強化することにより、山形の価値を高め、県民誰もが山形らしい豊かさを実感できる県づくりを進めます。

平成30年度当初予算（一般会計）の概要

歳出　6,051億円

教育費　1,171億円（19.3%）／公債費　916億円（15.1%）／民生費　765億円（12.6%）／商工費　706億円（11.7%）／土木費　587億円（9.7%）／農林水産業費　403億円（6.7%）／総務費　392億円（6.5%）／警察費　257億円（4.2%）／衛生費　211億円（3.5%）／その他　644億円（10.6%）

歳入　6,051億円

自主財源　2,690億円（44.4%）／依存財源　3,362億円（55.6%）／県税　1,106億円（18.3%）／諸収入　821億円（13.6%）／繰入金　193億円（3.2%）／その他自主財源　570億円（9.4%）／地方交付税　1,715億円（28.3%）／県債　792億円（13.1%）／国庫支出金　644億円（10.6%）／その他依存財源　211億円（3.5%）

注：表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある

用語解説

【歳出】

◎公債費…　県債返済などに使うお金

◎民生費…　生活保護などの社会保障のためのお金

◎衛生費…　医療や健康増進、環境保全などのためのお金

【歳入】

◎地方交付税…　自治体間の財源の格差をなくすために、国に納められた所得税などの一部について国から交付されるお金

◎県債…　県民負担の世代間の公平などのため、道路や学校を建てるなどの目的で県が借りるお金

◎国庫支出金…　道路の整備など、特定の事業に対して国から交付されるお金

自主財源…　県税など、県が自主的に収入する財源

依存財源…　国から交付されたり割り当てられたりする財源

【予算規模】

平成30年度当初予算は、総額6,051億円となり、９年連続で6,000億円を超える規模となりました。平成29年度当初予算に比べ、1.3%の減少となりましたが、産業振興による雇用の創出や本県産業をけん引する人材の育成、若者や元気シニアの定着・移住の推進、若い世代への結婚・出産・子育て支援など、「やまがた創生」の取組みを一層強化しています。

【歳入予算】

県税は、10年ぶりに1,100億円台を見込んでいます。法人事業税・個人県民税の増収などによるものです。地方交付税は、県税収入の増加などを反映し、減少が見込まれます。

【県債残高の見込み】

平成30年度末の県債残高は、１兆1,768億円と見込んでいます。前年度の同じ時期に比べ４億円減少する見込みです。また、財政健全化の目標として掲げた臨時財政対策債と補正予算債を除いた残高も21億円減少し、6,691億円となる見込みです。

短期アクションプラン７つの柱

これからの県づくりに向けて、重点的に取り組む事業の方向性やその進め方を示した「短期アクションプラン」の７つの柱に基づき、様々な施策を展開していきます。

１．郷土愛を育み未来を築く子育て支援・多彩に活躍する人づくり
２．いのちと暮らしを守る安全安心な社会の構築
３．新たな価値の創造・拡大・発信による活力ある産業の集積
４．地域の豊かさを支え、高いブランド力で国内外に展開する農林水産業
５．世界に誇る山形の魅力を発信し国内外の旺盛な活力を引き込む「観光立県山形」の確立
６．再生可能エネルギーによる産業振興と地域活性化、国内外に誇れる優れた環境資産の保全・創造・活用
７．地域活力と多様な交流を生み出し災害に強い県土基盤の形成

１．郷土愛を育み未来を築く子育て支援・多彩に活躍する人づくり

●年々増加する保育需要に対応するため、施設整備と保育人材確保の両面から待機児童解消に向けた取組みを進めます。
●若者の郷土への愛着や誇りを醸成し、地域活動のさらなる活性化を推進するための体制を構築します。
●県内高等教育機関などへの県内高校生の進学を後押しし、若者の県内定着を推進します。
●子どもたちが自ら企画し、他者と協働しながら新しい価値を生み出す起業家精神の基盤づくりを推進します。

【主な事業】

低年齢児の保育体制の充実　8,600万円
「若者支援コンシェルジュ」の配置など若者による地域での活躍を支援　800万円
小学生を対象とした起業家精神の基盤となるマインドづくりの推進　500万円

写真キャプション）若者の活躍を応援する機運を醸成するため、若者や若者団体の活動情報を発信します。

２．いのちと暮らしを守る安全安心な社会の構築

●若い頃からの健康づくりに対する機運を醸成し、社会全体で健康を支える新たな仕組みとして、寄付を財源とした基金を創設します。
●家族介護に伴う離職防止のため、介護と仕事を両立しやすい環境づくりの推進に向けた支援を行います。
●援助や配慮を必要とする方も出かけやすい県づくりを加速させるため、県内におけるバリアフリー化をハード・ソフト・情報発信の面から推進します。

【主な事業】
県民の健康づくりを推進するための基金の創設【全国初】　300万円
介護離職ゼロに向けた意識改革や介護休業代替職員確保への支援【東北初】　800万円
観光施設やスポーツ・文化施設などのトイレのバリアフリー化への支援　1,900万円

写真キャプション）「健康長寿県やまがた」の実現を目指して、若い頃からの主体的な健康づくりの取組みを支援します。

３．新たな価値の創造・拡大・発信による活力ある産業の集積

●県内の世界最先端の技術を活かした産業集積や事業化を後押しします。
●創業を希望する若者を幅広く支援するとともに、若手経営者の新たな海外展開や海外向けインターネット販売を支援します。
●世界規模のワイン品評会（ＩＷＣ）の日本酒部門審査会を本県で開催し、「日本一美酒県 山形」を世界にＰＲします。
●正社員化を促進する奨励金の拡充や生産性向上と賃金底上げを図る奨励金の創設により、所得向上の取組みを強化します。

【主な事業】
創業を希望する若者の支援を行う若者創業応援プロジェクトの実施　1,300万円
ＩＷＣ2018「ＳＡＫＥ部門」審査会の本県開催【東北初】　1,100万円
県内労働者の総合的な所得向上を図る支援の強化【全国初】　２億3,000万円

写真キャプション）世界に向けて「日本一美酒県 山形」をＰＲし、県産酒などの県産品の販路

拡大を図ります。

４．地域の豊かさを支え、高いブランド力で国内外に展開する農林水産業

●今年秋、本県で開催する全国農業担い手サミットに向け、おもてなしの心で開催準備に万全を期します。
●「雪若丸」の今年秋の本格デビューに向け、生産・販売・ＰＲ事業を展開します。
●ＩＣＴ（情報通信技術）を活用した新技術の実証を行い、「スマート農業」の普及推進を図ります。
●園芸大国やまがたの実現に向け、大規模園芸団地化の推進や、さくらんぼ新品種「山形Ｃ12号」のブランド化に取り組みます。

【主な事業】
「雪若丸」本格デビューに向けたブランド化の推進　7,700万円
「スマート農業」の普及推進　1,000万円
さくらんぼ新品種「山形Ｃ12号」のブランド化の推進　700万円

写真キャプション）関係機関一丸となり「雪若丸」のブランド化に取り組みます。

５．世界に誇る山形の魅力を発信し国内外の旺盛な活力を引き込む「観光立県山形」の確立

●新潟・庄内エリアで開催される観光キャンペーン（ＤＣ）を推進し、「美食」や「美酒」などの強みを中心に、文化、歴史、山など本県独自の魅力を磨き上げ、国内外からの誘客を図ります。
●世界中に認識される四季のリゾート「蔵王」ブランドを確立し、旺盛なインバウンド需要や国内旅行者を本県に取り込みます。
●外航クルーズ船のさらなる寄港に向けたプロモーションの展開や受入態勢を整備します。

【主な事業】
新潟県・庄内エリアＤＣに向けた誘客推進及びＰＲの展開　8,500万円
新「世界の蔵王」～四季のリゾート～プロジェクトの推進　400万円
酒田港への外航クルーズ船の誘致及び受入態勢の整備　3,000万円

写真キャプション）観光キャンペーン開催に向け、官民一体となった地域資源の磨き上げや受入態勢の整備を推進します。

６．再生可能エネルギーによる産業振興と地域活性化、国内外に誇れる優れた環境資産の保全・創造・活用

●風力発電の導入を進めるため、民間事業者が市町村と連携して行う事業可能性調査などを支援します。
●県産再生可能エネルギー電力の地産地消を拡大し、地域エネルギーマネジメントシステムを構築するほか、地域の水力や太陽光を活用した街路灯整備をモデル的に支援し、明るく安全・安心な地域環境を作ります。
●「やまがた百名山」と「里の名水・やまがた百選」の魅力発信や山岳を中心にした地域づくりの取組み支援を行います。

【主な事業】
市町村と連携して民間事業者が行う風力発電の事業可能性調査への支援　1,000万円
再生可能エネルギーの地産地消モデル推進事業への支援　1,500万円
山岳資源と湧水の魅力向上、山岳を中心にした地域づくり支援など　1,700万円

写真キャプション）「やまがた百名山」の情報発信を行うほか、木歩道整備など受入態勢の整備を行います。

７．地域活力と多様な交流を生み出し災害に強い県土基盤の形成

●県外からの若者世帯などの移住に向け、市町村、ＪＡなどと連携し、「住宅」と「食」「職」を組み合わせた山形らしい移住の支援を一体的に展開します。
●若手大工の入職・育成のため、資格取得や技能習得に向けたサポート資金交付などによる支援を行います。
●奥羽・羽越新幹線の早期実現に向け、県内関係者が一丸となって、また、沿線の関係県などと連携しながら地域の機運醸成や政府への要望活動などの取組みを進めます。

【主な事業】
「住宅」「食」「職」を組み合わせた移住定住の一体的支援【全国初】　1,000万円
若手大工育成支援プログラムの推進【全国初】　700万円
フル規格の奥羽・羽越新幹線の早期実現に向けた取組みの推進　2,900万円

写真キャプション）市町村などと連携し、県外からの若者世帯などの移住促進に積極的に取り組みます。

人材確保・生産性向上の推進

　全国的な人手不足の中、喫緊の課題である、あらゆる産業の人材確保、生産性の向上、移住・定住の促進に取り組みます。

●人手不足対策として、協議会の設立により推進体制を整備するとともに、労働者の所得向上や就業者確保のための支援に取り組みます。

●ＩＣＴによる生産性向上を図るため、活用モデルの構築などの業務改善、省力化を実現する技術の導入への支援に取り組みます。

【主な事業】

◎オール山形で人材確保などに取り組む推進体制の整備　100万円

◎建設業技能労働者の確保に向けた支援　100万円

◎企業の生産性向上のためのＩｏＴ等活用モデルの構築　1,500万円

写真キャプション）ロボットを導入して生産性の向上を図る県内企業を支援する人材の育成に取り組みます。

＜８から９ページ＞

タイトル）　**奏であう人**　ボリューム 44

撮影場所　株式会社市村工務店 大工ミュージアム

キーワード…職人のものづくりと地域の関わり

伝統的な宮大工の技術を地域に生かす。和菓子を通して地域のブランドを高める。ものづくりに関わり、その魅力や地域力を育む。そんなお二人に話をお聞きしました。

市村 清勝 さん（山辺町）

山辺町生まれ。1982年、株式会社市村工務店入社。2001年、４代目代表取締役に就任。一般建築のほか、継承する宮大工技術で、羽黒山五重塔（国宝）の保存修理や山形市郷土館（国指定重要文化財）の移築復元などを手がける。学校への出張セミナーで、子供たちにものづくりの楽しさ

を伝えるなど、地域貢献にも努めている。

写真キャプション）
多彩な講師を招き、社内にとどまらず地域に開かれた公開セミナーを開催。毎回多くの参加者で盛況となった。今年はさらに発展させ、学校向けに社員を派遣する出張セミナーを実施し、子どもたちに大工の仕事やものづくりの楽しさを伝えている。

佐藤 慎太郎 さん（山形市）

山形市生まれ。 大学卒業後、京菓子司「末富」にて５年間修業。2007年、山形に戻り、乃し梅本舗 佐藤屋（株式会社 佐藤松兵衛商店）にて和菓子工場勤務。現在、常務取締役。オリジナル菓子によるモンテディオ山形のサポートなど､和菓子を通した地域の活性化に積極的に取り組む。

写真キャプション）
子育て世代の父親ネットワーク「山形イグメン共和国」での親子和菓子教室の一コマ。小学校での教室も20回以上、「和菓子職人が憧れの職業になってほしい」との思いがある。デイサービスや病院など、要望があれば積極的に出張教室を行っている。

伝統文化を支える職人の技

我が社は、寺社建設や文化財修復などの印象が強いですが、実際は、店舗や学校、住宅などがほとんどで、伝統建築は５％程度です。宮大工の特殊技術は我が社の強みですと、市村さんは言います。

「社長就任以来、ずっと『最高のものをつくろう』を会社のスローガンに掲げています。スペインの世界的建築家、アントニオ・ガウディの言葉ですが、建築が好きでたまらないと思い続けられる社員の気持ちをつくることが、社長としての自分の仕事だと思っています」。

佐藤さんは､江戸末期､文政年間創業の老舗菓子舗の８代目として､和洋菓子の製造に携わり、県外の百貨店にも数多く提供しています。

「店舗で販売する菓子は半分、残り半分は茶会などに合わせて作る特注菓子です。オーダーメイドの菓子製造に取り組むことで、職人としての知恵や技が鍛えられます」。

茶室を手がけることも多い市村さんがこれに応えます。

「お茶の世界は、特に日本文化を集約していますよね。菓子、生花、器などの茶道具、もちろん茶室そのものには宮大工の技術が求められます｡こういった文化が職人の格好のトレーニングの場をつくっています」。

そして、「職人の技術を守るのは、注文していただくことなんです。」と声を揃えます。

達成感や成功体験が職人を育てる

市村さんが数年前から企画・実施している『イチカレッジ』は、宮大工をはじめとする人材育

成のため、様々な講師を招いて実施する公開セミナー（公開型社内大学）です。

「今年からは、小中学校に出張する『イチカレッジＴＯ－ＧＯ』を開講しました。木組みの技術やものづくりの楽しさを子どもたちに知ってほしいし、指導に出向く大工の意識向上にもつながると思っています」。

その様子の動画を見て、佐藤さんが身を乗り出します。

「私の息子、娘も参加して、イスづくりを体験させてもらいました。妻も一緒に映っていますが、皆、楽しかったと言っていました。

まるごとマラソンで「乃し梅」を提供する「乃し梅エイド」や、イベントへの出店などの取組みを行っており、普段はお客様と接することのない職人が直接触れ合うことで、自分たちの仕事に自信や喜びを感じる貴重な機会になっています。

また、学校での和菓子教室では、参加した子どもたちが菓子作りの面白さを知り、少しでも和菓子職人になりたいと思う子が出てほしい、という気持ちで行っています」。

市村さんが言葉を続けます。

「そうですね。仕事の喜び、達成感や成功体験が職人の育成、技術の継承に不可欠です。宮大工に依頼される仕事は決して多くありませんから、いかにしてその機会を増やすかが私の仕事だと思っています」。

デザイン力と発信力が地域ブランドを創る

佐藤屋名物「乃し梅」には、山形県産の梅が使われています。材料確保のためだけではなく、これからは、さらに農業との連携を強めていきたいと、佐藤さんは話します。

「生産してくださる農家さんも共に菓子作りに取り組むことで、材料を育てるモチベーションも高まるでしょうし、菓子を通して自分たちの地域に対するプライドも生まれます。同時に、菓子店がその地域にある意義も大きくなっていくと思います。

商店街のイベントに積極的に取り組むことによって、菓子店、小売店が街の魅力アップや情報発信に役立てると考えているからです」。

「そこが職人の苦手な部分です。大工のものづくりのレベルは高くても、デザイン力や情報発信力では大手に負けています。」と市村さん。

「佐藤屋さんの菓子やパッケージデザインはとても洗練されており、見習う点が多いと思います。

職人の技術向上と継承は、仕事を増やすことに尽きます。そのためにも、知名度を上げるデザインと、情報発信によるブランディングが、今後、さらに重要になってくると思っています」。

＜10から11ページ＞

タイトル）県議会だより 第66号

写真キャプション）２月定例会（着物姿で伝統産業をＰＲ）

２月定例会の概要

平成30年２月定例会は、２月19日から３月16日までの26日間の会期で開催され、平成30年度一般会計予算案や平成29年度一般会計補正予算案をはじめ知事提出の97議案などを可決しました。

また、３件の意見書と1件の決議を可決し、意見書については国に提出することとしました。

主な質疑内容は、次のとおりです。

新副議長が決まりました

３月16日、副議長選挙が行われ、第63代副議長に小野幸作議員（寒河江市選挙区）が選出されました。

写真キャプション）本会議で挨拶をする小野 幸作 新副議長

２月定例会において、委員会の所属変更が行われました。新所属委員については、県議会ホームページのほか、県庁・総合支庁・公民館・図書館などでご覧いただける議会広報誌「県議会やまがた」（第21号）でご紹介します。

代表質問の質疑内容

自由民主党　森谷仙一郎 議員　天童市選挙区　２月26日

◆平成30年度当初予算について
◆フル規格新幹線の整備促進について
◆山形県文化基本条例について
◆住民生活におけるイノシシ被害の防止に向けた取組みについて
◆保育の受入れ枠拡大の取組みについて
◆サッカースタジアム建設について
◆県主体のイベントのあり方について
◆サクランボ新品種「山形Ｃ12号」のブランド化について
◆高速道路の整備効果を地域に波及させるための道路施策について
◆県立病院の持続可能な経営について

◆教員の働き方改革について

県政クラブ　髙橋啓介 議員　山形市選挙区　２月26日
◆みんなで取り組む健康長寿県やまがた推進条例制定の考え方及び今後の進め方について
◆介護離職者を出さない今後の取組みについて
◆生活困窮者自立支援事業の現状と今後の対応について
◆労働者の所得向上に向けた支援について
◆中小企業に対する支援について
◆今後の本県の農政について
◆スポーツ施設の整備について

一般質問の主な質疑内容

自由民主党　柴田正人 議員　南陽市選挙区　２月27日
◆本県産業の人手不足対策について
◆若者の県内定着に向けた教育庁と商工労働部の連携について
◆ソフト・ハード両面の治水・防災対策の推進について など

公明党　菊池文昭 議員　山形市選挙区　２月27日
◆バリアフリー社会の実現について
◆ひきこもり者への対応と支援について
◆農福連携の取組みについて など

自由民主党　渋間佳寿美 議員　米沢市選挙区　２月27日
◆高齢者の活躍及び雇用の促進について
◆自動化・省力化技術の導入促進について
◆県立図書館の大規模改修とあり方について など

自由民主党　楳津博士 議員　寒河江市選挙区　２月28日
◆ＳＮＳ（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用した、いじめに対応する相談体制の構築について
◆寒河江工業高等学校の改築について
◆本県におけるスマート農業の普及推進について など

県政クラブ　石黒覚 議員　酒田市・飽海郡選挙区　２月28日
◆「観光立県山形の確立」の現状と取組み強化について
◆地方創生に向けた本県大学等の魅力づくりについて
◆庄内地域の観光振興について など

自由民主党　奥山誠治 議員　山形市選挙区　２月28日
◆山形県の認知度向上に向けた取組みについて
◆アスリートの県内定着・回帰に向けた取組みについて
◆若者のＵＩターン就職促進に向けた取組みについて など

予算特別委員会の主な質疑内容

自由民主党　小松伸也 議員　最上郡選挙区　３月２日
◆今冬の大雪に係る県の対応と「雪対策条例」の必要性について
◆大工職人の育成について など

県政クラブ　青柳安展 議員　東根市選挙区　３月２日
◆若者が活躍できる環境づくりの推進について
◆山岳を中心とした地域振興について など

自由民主党　加賀正和 議員　尾花沢市・北村山郡選挙区　３月２日
◆山形県の地域医療について
◆雪国やまがたの克雪諸課題についてなど

自由民主党　鈴木孝 議員　東村山郡選挙区　３月５日
◆有機エレクトロニクスの産業化に向けた今後の取組みについて
◆「やまがた木育」の具体的な進め方について など

県政クラブ　金子敏明 議員　酒田市・飽海郡選挙区　３月５日
◆若年者への消費者教育・啓発について
◆庄内地域の松くい虫対策についてなど

自由民主党　小野幸作 議員　寒河江市選挙区　３月５日
◆「第３回やまがた雪フェスティバル」について
◆小規模企業施策等に関する課題について など

無所属　阿部信矢 議員　鶴岡市選挙区　３月６日
◆活力ある地域づくりの推進について
◆地域における再生可能エネルギーの導入促進について など

自由民主党　後藤源 議員　米沢市選挙区　３月６日
◆福島・米沢間のトンネル整備における県負担の考え方について
◆学校現場での新聞活用についての県教育委員会の方針と指導について など

県政の重要課題に関する意見交換会を開催

２月６日、東京都内で、国の制度改正及び新たな事業施策の展開や方向性等を把握し、議会における審議を充実させることなどを目的に、県政の重要課題に関する意見交換会を開催しました。議員11人が参加し、「地域振興に向けた鉄道の整備」、「新たな世界最先端技術を核とした新産業創出に向けた支援」をテーマに２つの分科会に分かれ、関係府省等の職員と活発な意見交換を行いました。

写真キャプション）意見交換会の様子

２月定例会で可決した意見書

●保育士の処遇改善を求める意見書
●災害対策に係る財政支援を求める意見書
●中小企業の持続的な成長・発展に向けた支援の充実を求める意見書

２月定例会で可決した決議

●2025年国際博覧会の誘致に関する決議

平成29年度議会政策提言

平成29年に設置した３つの特別委員会における審査・調査の結果を踏まえて、県勢発展に資する施策を県議会の総意として取りまとめ、平成30年３月15日、知事に対して議会政策提言を行いました。

●政策提言の内容

提言１ 将来を担う子ども・若者を育成するための支援対策の充実
（１）安心して子どもを育てられる環境づくりの推進
（２）将来を担う子ども・青少年の育成
（３）若者が活躍できる環境づくりの推進

提言２ 安全で活力ある社会を実現するための県土強靭化・危機管理対策の推進
（１）災害から県民を守るための県土強靭化・危機管理対策の充実・強化

（２）強靭な県土の骨格を形成する高速交通網の整備
（３）県民の安全・安心な暮らしを確保する施策の更なる推進
提言３　力強い経済発展を推進するための産業振興・雇用対策の強化
（１）中小企業の経営の安定・強化に向けた支援及び本県産業における労働力の確保
（２）農林水産業における新たな事業展開の促進
（３）交流人口拡大に向けた観光振興の推進

写真キャプション）吉村知事に提言書を手交する志田英紀議長

●平成28年度の政策提言に対するフォローアップ
平成28年度の政策提言に対する執行部の取組状況（フォローアップ）を取りまとめました。
※政策提言全文及びフォローアップは、県議会のホームページからご覧いただけます。

問い合わせ◎編集発行／山形県議会事務局議事調査課 電話 023-630-2845
検索ワードに“山形県議会”を挿入しクリック！

＜12 から 13 ページ＞

タイトル）　**地域の旬だより**　**各地からの情報をお届けします。**

村山　村山地域の観光を楽しむ

◎ 外国人観光客向け音声ガイド

外国人観光客に、地域の歴史や文化を理解いただき、観光を一層楽しんでいただけるよう、英語、中国語の音声で解説を聞くことができる、ペン型の音声ガイドを導入しました。専用のガイドブックをペンでタッチすると、選択した言語の音声で、文化財や美術品についての解説を聞くことができます。

導入したのは、名画を巡る企画「ＹＡＭＡ（やま）コレ」を実施する山形美術館、山寺後藤美術館、天童市美術館、広重美術館と「出羽名刹三寺まいり」企画を実施する立石寺（山寺）、慈恩寺、若松寺です。日本語での解説もありますので、県民の皆さまにもお楽しみいただけます。ぜひ、ご体験ください。

写真キャプション）美術館のガイドブックと音声ペン
写真キャプション）出羽名刹三寺まいりのガイドブックと音声ペン

問い合わせ ◎ 村山総合支庁観光振興室 電話 023-621-8446

ハルビン　ハルビンで県産酒が人気！

◎日本食ブームに乗り取扱店が増加中

本県と中国黒龍江省は、1993年から友好県省の関係を発展させてきました。黒龍江省を含む東北三省は、大きな経済成長の可能性を秘めており、2011年にハルビン市に本県事務所を開設しました。

当事務所では、現在、日本大使館のイベントなどにおける県産酒のＰＲに特に力を入れています。最近は、ハルビンに県産酒を扱う卸業者ができ、市内の日本料理店での取扱いが増えるなど、県産酒が徐々に浸透してきています。

また、以前は日本料理というと、味が薄い、量が少ないなどの理由で人気が低く、日本酒に関心を持ってもらえませんでしたが、健康志向の高まりや、日本への旅行者の増加、さらには、「日本文化＝おしゃれ」というイメージも相まって、今、日本料理が空前のブームです。

こうしたチャンスを逃さず、これからも様々な機会を捉えて山形の魅力や情報を発信し、県全体のＰＲに取り組んでいきます。

写真キャプション）様々な県内酒蔵のお酒が並ぶハルビンの日本料理店

問い合わせ ◎ 県ハルビン事務所（中国黒龍江省） 電話 +86-451-5180-3406

観光通信　山形日和

日本一さくらんぼ祭りを楽しもう!

初夏にみんなが待ち望むさくらんぼ。生産量もおいしさも日本一のここ山形を舞台に、今年もお祭りを開催します。

恒例の「日本一巨大な流しさくらんぼ」をはじめ、「大鍋で清涼さくらんぼすくい」などで山形のさくらんぼを堪能できるのはもちろん、踊って盛り上がれる「仮装でさくらんぼパーティー」やご当地グルメ、若者による華麗なパフォーマンス披露など楽しいイベントが盛りだくさんです。さらに、今年はインスタ映えするフォトスポットを設置します。みんなで写真を撮って盛り上がりましょう！

内容充実、イベントスケールを拡大して、皆様のお越しをお待ちしています。

問い合わせ ◎ 観光立県推進課 電話 023-630-2373

検索ワードに“日本一さくらんぼ祭り”を挿入しクリック！

今が旬！県産農産物　やまがた四季彩食（しきさいしょく）

月山湧水で育った自然のめぐみ　大蔵村産本わさび

　積雪３メートルを超す日本有数の豪雪地帯である大蔵村。そんな環境にあるからこそ、村には月山からの清水が豊富に湧き出しています。その湧水と澄んだ空気の中で作られているのが、高級食材とも言われている大蔵村産の本わさびです。

　本わさびは、生ですりおろすと香り高く、辛みの中にまろやかな甘みも感じられ、料理のおいしさを引き立てます。このわさび独特の辛みは時間が経つとなくなってしまうので、食べる直前や調理する直前におろすのがおいしく食べるポイントです。葉や茎、花も独特の辛みがあり、食べることができます。

　今回は、清涼な香りと辛みが楽しめる「本わさび丼」をご紹介します。

簡単レシピ

「本わさび丼」

●材料

本わさび、かつお節、切りのり、しょうゆ（各適量）、ご飯（茶碗１杯）

●作り方

１.本わさびの表面の皮と汚れを洗い落す。

２．１の表面の水気をよくふき取って、鮫皮おろし（または目の細かいおろし金）に対して垂直にわさびを持って、円を描くように回しながらすりおろす。

３.丼に炊き立てのご飯を盛り、かつお節、切りのり、すりおろしたわさびをのせて出来上がり。しょうゆをかけて食べます。

●残った本わさびの保存方法

コップなどにわさびを立て、茎まで水を入れて冷蔵庫で保存。水は２から３日に１度交換。

問い合わせ ◎ 最上総合支庁農業振興課 電話 0233-29-1316

＜14 から 15 ページ＞

タイトル）おいしい山形インフォメーション

山形県の人口と世帯数 平成30年３月１日現在

人口総数1,097,059人（前月比マイナス1,059人）　世帯数396,363（前月比マイナス278世帯）

試験

山形県職員採用試験

平成30年度の山形県職員採用試験を、以下のとおり実施予定です。

試験名／大学卒業程度

申込受付期間／５月11日（金曜日）から５月31日（木曜日）まで

第1次試験日／６月24日（日曜日）

試験名／短大・高校卒業程度　市町村立学校事務職員

申込受付期間／８月３日（金曜日）から８月31日（金曜日）まで

第1次試験日／９月23日（日曜日・祝日）

試験名／警察官Ａ

申込受付期間／４月24日（火曜日）から６月18日（月曜日）まで

第1次試験日／７月８日（日曜日）

試験名／警察官Ｂ

申込受付期間／７月13日（金曜日）から８月27日（月曜日）まで

第1次試験日／９月16日（日曜日）

◆受験案内配布開始日

大学卒業程度　５月11日（金曜日）

短大・高校卒業程度　８月３日（金曜日）

市町村立学校事務職員　８月３日（金曜日）

警察官Ａ　４月24日（火曜日）

警察官Ｂ　４月24日（火曜日）

◆配布場所 県庁（15階人事委員会事務局、１階受付）、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所（東京・大阪・名古屋）※県ホームページからダウンロードもできます。

問い合わせ／人事委員会事務局 電話 023-630-2782

山形県公立学校教員選考試験

平成30年度の山形県公立学校教員選考試験（１次試験）を、以下のとおり実施予定です。

◆試験日　７月21日(土曜日)、22日(日曜日)

◆実施要項配布開始日　　５月11日(金曜日)

◆配布場所　　県庁（13階教育庁教職員課、１階受付）、各教育事務所、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所（東京・大阪・名古屋）

問い合わせ／教育庁教職員課 電話 023-630-2864

山形県病院事業局職員選考試験（看護師）

平成30年度の県立病院の看護師選考試験を、以下のとおり実施予定です。

◆申込受付期間　　６月４日(月曜日)から７月６日(金曜日)まで

◆試験日　８月４日(土曜日)、５日(日曜日)

◆受験案内配布開始日　　５月11日(金曜日)

◆配布場所 県庁(12階県立病院課、１階受付)、各県立病院、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所(東京･大阪･名古屋)※県ホームページからダウンロードもできます。

問い合わせ／県立病院課 電話 023-630-3103

催し物

やまがた森の感謝祭2018の開催

自然の恵みや森の大切さを感じていただける楽しいイベントを開催します。

◆日時　６月２日(土曜日)午前10時から

◆会場　源流の森（飯豊町）

◆内容　県産木材を使用した木工クラフトや木育体験、家庭でドングリの苗木を育て、森にかえす「森のホームステイ」、山菜などの山の恵みや置賜地域の特産品の販売など

問い合わせ／みどり自然課 電話 023-630-2207

工業技術センター一般公開

工業技術を見学・体験できるイベントです。子どもから大人まで楽しめる企画が盛りだくさんです。

◆日時　６月23日（土曜日）午前９時から午後４時30分まで

◆会場 県工業技術センター、置賜試験場、庄内試験場
問い合わせ／工業技術センター　電話 023-644-3222

お知らせ

５月12日は看護の日です

５月12日のフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで、全国で「看護の日」及び「看護週間」事業が開催されます。本県においても「健康まつり」を開催します。
◆日時 ５月12日(土曜日)　午前10時から午後３時まで
◆会場 県看護協会会館(山形市)
◆内容 測定、相談、体験コーナーのほか、講話や展示パネルの設置など
問い合わせ／地域医療対策課 電話 023-630-2258

最上川総合水防演習開催！高めて活かそう“防災意識”

タイムラインに基づく東北最大級の総合水防演習を行います。水害対応の知識や防災意識を高める絶好の機会です。
◆日時 ５月27日（日曜日）午前８時から午後０時15分まで
　※防災展は午前９時から午後１時
◆場所 大石田町横山地先（最上川左岸河川敷）
◆内容 最上川流域市町村水防団による水防工法演習、地域住民及び関係機関参加訓練、東北水防技術競技大会、防災展など（見学自由）
●河川課 電話 023-630-2615

自動車税の納期限は５月31日(木)です

自動車税は、お近くの金融機関、郵便局、コンビニ、各総合支庁税務担当課のほか、インターネットを利用してクレジットカードでも納めることができます。皆さん、忘れずに納めましょう!
問い合わせ／税政課 電話 023-630-3347

所得向上に向けた取組みを応援します！

誰もが安心して生活できる将来への展望が描けるようにするためには、安定的な雇用と所得の向上が不可欠です。
このため、県では、全国に先駆けて昨年度に創設した、若者の正社員化と労働者の所得向上を支援する奨励金を拡充するとともに、新たに賃金底上げを支援する奨励金を設け、所得の向上に取り組みます。県内企業の皆様は積極的にご活用ください。
【山形県正社員化促進事業奨励金】
45歳未満の県内に在住勤務する非正規雇用労働者を正社員に転換し、６か月継続雇用した場合に、

厚生労働省のキャリアアップ助成金に上乗せして支給します。
※今年度は、対象労働者の年齢要件を40歳未満から45歳未満に拡充しています。
《奨励金支給例》
有期を正規に転換　(1人あたり)
キャリアアップ助成金（厚生労働省）
中小企業: 57万円／大企業:42.75万円

奨励金（県）
小規模企業主:40万円／中小企業:30万円／大企業:10万円

【山形県所得向上促進事業奨励金】
非正規雇用労働者の賃金を２％以上増額改定し、６か月間継続雇用した場合などに、厚生労働省のキャリアアップ助成金に上乗せして支給します。
《奨励金支給例》
対象労働者数　７から10人（定額）
キャリアアップ助成金（厚生労働省）
中小企業:28.5万円／大企業: 19万円
奨励金（県）
小規模企業主: 20万円／中小企業: 15万円／大企業: 5万円

対象労働者数　11から100人（１人当り金額）
キャリアアップ助成金（厚生労働省）
中小企業:2.85万円／大企業: 1.9万円
奨励金（県）
小規模企業主: 2万円／中小企業:1.5万円／大企業:0.5万円

※１人から対象となります

【山形県業務改善奨励金】今年度新規
事業場内最低賃金を時間当たり30円以上引き上げ、厚生労働省の業務改善助成金を受給した場合に支給します。
※事業場内最低賃金が時間当たり800円未満の中小企業が対象となります。
《奨励金支給例》
引上げ対象人数／１から３人
業務改善奨励金／小規模事業者　33.3万円／中小企業事業者　25万円

引上げ対象人数／４から６人
業務改善奨励金／小規模事業者　46.6万円／中小企業事業者　35万円

引上げ対象人数／７人以上
業務改善奨励金／小規模事業者　66.6万円／中小企業事業者　50万円

※別途上限がある場合があります。

（参考：厚生労働省 業務改善助成金上限額）

引上げ対象人数／１から３人
業務改善奨励金　50万円

引上げ対象人数／４から６人
業務改善奨励金　70万円

引上げ対象人数／７人以上
業務改善奨励金　100万円

※詳しくは県ホームページをご覧ください。 問い合わせ　雇用対策課 電話 023-630-2389

５月は「消費者月間」です

この機会に消費者問題に関心を持ち、身近な人が困っていないか気を配りましょう。
◆平成30年度統一テーマ
　「ともに築こう 豊かな消費社会　　～誰一人取り残さない～」
◆消費生活相談窓口への電話番号
　「１８８（いやや）番」でお近くの消費生活相談窓口につながります。

「消費生活サポーター」募集中！随時募集しています。
興味のある方は下記問い合わせ先までお電話ください。
◆応募資格 満18歳以上の県内在住の方で、消費者問題に関心のある方
◆活動例 地区の回覧板などで県からの注意喚起のチラシを回覧する、一人暮らしのお年寄りへ「声掛け」や「見守り」をする など
問い合わせ／くらし安心課　電話 023-630-3239

みんなで申し込んでケロ!

山形県消費生活センターキャラクター“ケロちゃん”

山形交響楽団演奏会・プロスポーツゲーム情報

第269回定期演奏会　～ウィーンフィル首席・オッテンザマーのモーツァルト～

開演日時　５月19日（土曜日）午後７時　５月20日（日曜日）午後３時

出演　指揮／飯森範親　クラリネット／ダニエル・オッテンザマー

演目　モーツァルト：クラリネット協奏曲　イ長調Ｋ．622　ほか

会場　山形テルサ

第270回定期演奏会　～首席客演指揮者バボラーク・就任記念～

開演日時　６月９日（土曜日）午後７時　６月10日（日曜日）午後３時

出演　指揮・ホルン／ラデク・バボラーク

演目　モーツァルト／ホルン協奏曲第1番　ニ長調Ｋ．412　ほか

会場　山形テルサ

庄内定期演奏会 第23回酒田公演　～首席客演指揮者バボラーク・日本の故郷酒田へ帰る～

開演日時　６月16日（土曜日）　午後６時30分

出演　指揮・ホルン／ラデク・バボラーク

演目　ドヴォルザーク／交響曲 第９番　ホ短調「新世界より」ほか

会場　酒田市民会館　希望ホール

料金：自由席4,200円ほか

詳しくは検索ワードに“山形交響楽団”を挿入しクリック！

問い合わせ　県民文化スポーツ課　電話 023-630-2306

サッカーＪ２（じぇいつー）「モンテディオ山形」ホームゲーム

日時／５月６日（日曜日）午後１時　対戦チーム／カマタマーレ讃岐

日時／５月13日（日曜日）午後２時　対戦チーム／大宮アルディージャ

日時／５月27日（日曜日）午後２時　対戦チーム／ツエーゲン金沢

日時／６月10日（日曜日）午後２時　対戦チーム／ジェフユナイテッド千葉

日時／６月23日（土曜日）午後７時　対戦チーム／徳島ヴォルティス

日時／６月30日（土曜日）午後７時　対戦チーム／ＦＣ岐阜

会場：ＮＤソフトスタジアム山形（天童市）

詳しくは検索ワードに“モンテディオ山形”を挿入しクリック！

プロバスケットボールB2リーグ「山形ワイヴァンズ」ホームゲーム
日時／５月５日（土曜日・祝日）午後２時／５月６日（日曜日）午後３時半
対戦チーム／香川ファイブアローズ
会場：山形県総合運動公園（天童市）
詳しくは検索ワードに“山形ワイヴァンズ”を挿入しクリック！

プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」イースタン・リーグ公式戦（２軍戦）
日時／５月29日（火曜日）午後６時　５月30日（水曜日）午後６時
対戦チーム／横浜DeNA(でぃーえぬえー)ベイスターズ
会場／きらやかスタジアム（山形市）

日時／６月２日(土曜日)午後１時
対戦チーム／埼玉西武ライオンズ
会場／日新製薬スタジアムやまがた（中山町）

日時／６月３日(日曜日)午後１時
対戦チーム／埼玉西武ライオンズ
会場／天童市スポーツセンター野球場

問い合わせ　県民文化スポーツ課　電話 023-630-2284

やまがたベストワン　其の９

やまがたにある「日本一」を紹介します。

　おじいちゃんもおばあちゃんも、お父さんもお母さんも、子どもたちも、共に笑い、泣き、共に考え、手を取り合いながら一緒に暮らす三世代同居。全国的に核家族化が進む中においても、県内では共働き世帯の増加に伴い、まだまだ高い水準を維持し、三世代同居率日本一です。支えあうことの喜びや、助け合いへの感謝の気持ちなど、一緒に暮らすからこそ感じることができる幸せがありますね。

写真キャプション）第３回三世代家族写真コンテスト最優秀賞「将来はお医者さん？？」

＜16 ページ＞

タイトル）やまがたモノガタリ

テーマ）木製独楽

子どもたちに人気の木製独楽づくりについて日本一の生産量を誇る木地玩具蔦屋さんから話をお聞きしました。

生産量は１年間に約５万個

蔦屋の初代、蔦作蔵氏が、こけしの里である宮城県白石市弥治郎で修業し、大正２年に自作のこけし、木製の器や独楽、おもちゃなどを販売するおみやげ店を、米沢市小野川温泉に開業したのが始まりです。一人の職人が手がけていた木工加工、色付け、組み立ての工程をいち早く分業制にして作業の効率を高め、子どもがお小遣いで買えるよう安く販売しました。最も多いときで年間約10万個、現在は約5万個を生産し、木製独楽の生産量は日本一です。

貴重な木を無駄にしない

昭和時代になってプラスチックやブリキでできた人形やおもちゃが作られ、木製製品の人気が落ちました。何とか人気を復活させたいと、独楽の回転を利用したカラクリおもちゃを数多く考案しました。独楽に適さない材料も部品として生かします。また、独楽の大きさを材料の太さに合わせて細かく分け、貴重な資源である木を決して無駄にしないように心がけています。独楽は200種類、からくり玩具やダルマ落としなどで80種類もの製品を作っています。

楽しく、癒される製品づくり

新製品「飾り独楽」は、デザイナーと組んで開発しました。高畠町出身の童話作家・浜田広介の「泣いた赤おに」から考えた「ひねり独楽」の赤おに・青おにと、「逆立ち独楽」のこけしとダルマがあり、とても好評です。木に温もりがあるのは、森の精霊が宿り、長い年月、太陽のエネルギーを浴びて育ったからとの思いで作っています。伝統的なこけしを手がける一方で、自由な発想で多くの人が遊んで楽しく、見て癒される木製のおもちゃを作り続けています。

こうして作っています。

１.

置賜地域周辺の山林に自生する「イタヤカエデ」を材料に、作る独楽の大きさに合わせて無駄が出ないように輪切りにします。

２.

ろくろに取り付けて回しながら、棒状のかんなで独楽の形に削ります。芯の位置がはっきりした木が、よく回る独楽になります。

３.

形が出来上がったら顔料で色を付け、別に制作した芯棒を入れて完成です。黄色を取り入れて塗るのが蔦屋の独楽の特徴です。

木地玩具蔦屋（米沢市）さんからのメッセージ

お話をお聞きした　蔦 文男さん

40年以上、独楽や木製のおもちゃのことを考え、寝るときも浮かんだアイデアを書き留められるよう、枕元にメモを置いています。好きなことを一生懸命続けることが、大切だと思っています。

電話 0238-32-2600

やまがたモノガタリ・・・「山形県産品愛用運動」参加企業が製造している県産品を紹介しています。

検索ワードに“山形県産品愛用運動”を挿入しクリック！

奥付

県民のあゆみ　平成 30 年５月号　603 号
奇数月１日発行　編集発行◎山形県広報広聴推進課
郵便番号 990-8570　山形市松波二丁目８番１号　電話 023-630-2534
表紙題字｜山形県知事 吉村美栄子
県ホームページアドレス　http://www.pref.yamagata.jp/